

主体的・対話的で深い学びを実現する単元構想 リフレクションシート（商業科「ビジネス基礎」）

単元名： 1年生 第4章 第1節 ビジネスと企業（全9時間）

単元構想のリフレクション	
単元を通した構想の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの調べ学習とジグソー法を用いてグループで情報を共有させることで、一人一人の生徒に役割ができ、その役割を果たそうと前向きに取り組む生徒が目立った。事後アンケートの結果では9割を超える生徒が「他者に伝えられた」「理解できた」と回答している。 単元を通して企業の社会的役割や企業ごとの理念について考え、企業人となる自分自身の姿を意識させることに主眼を置いて実践した。しかし、本単元の後に学習する第4章「企業活動の基礎」全体を通して、より理解が深まったと感じられる場面が見られた。一つの単元ではなく、複数の単元を貫いた構想とすることが、より効果的であると感じた。
主体的な学びを実現する手だての有効性の検証	<ul style="list-style-type: none"> 習熟度や意欲に差があるため、調べ学習をペアで行うように工夫した。ペア学習の後に、グループ内でジグソー法を用いて情報共有させたが、一人では上手に伝えられない生徒も、ペアの生徒と相談しながら協力して説明することができた。 全ての生徒に役割があり、全員が必ず他者に伝える機会があるため、他人事とならず、他者の発表を意欲的に聞く生徒が多かった。
対話的な学びを実現する手だての有効性の検証	<ul style="list-style-type: none"> ペアで取り組む際には、二人で作業する時間、話し合いをする時間を確保し、協力しながら進められるよう工夫した。また、ジグソー法を用いることで、限られた時間や設備の中で、多くの情報を共有させることができると同時に、協力して一つのものを作り上げる姿勢を身に付けさせることができた。 企業の方と話すことで、言葉遣いや挨拶という基本的なマナーだけでなく、知識や関心をもつことの必要性、社会人になるために必要な資質や態度を実感させることができた。
深い学びを実現する手だての有効性の検証	<ul style="list-style-type: none"> 各企業を比較させて共通点や相違点を明確にさせたことで、業種が異なっても共通する点があることに気付かせることができた。 他のグループの発表を聞いて気付いた点を記入させたが、自由に書かせたため、生徒の習熟度により記入できる生徒と記入できない生徒との差が出てしまった。

抽出生徒の変容		
生徒	実践前の様子	単元終了時の様子
A	<ul style="list-style-type: none"> 学習意欲が高く、他人の意見を真面目に聞くことができる。しかし、自分の考えに自信がもてず、周りを引っ張ることを苦手としているため、周囲と協力しながら自分のもつ力を発揮してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表の際はグループ内を調整し、適材適所を見極めて役割分担を指示していた。 事後アンケートで「しっかり調べ自信をもって発表できた」「夢の実現に向けて頑張る」など前向きな記述があり、自分の考えに自信をもつことができた。
B	<ul style="list-style-type: none"> やるべきことに黙々と取り組むことができる。しかし、自分の気持ちを表現することを苦手としており、感情が表に出にくいところがある。自分の中にある気持ちに気づき、表現できるようになってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 事後アンケートで「勉強を教えてもらい自分で取り組む学校と、仕事を教えてもらい自発的に取り組む仕事で似ていると思った」「お客様への気持ちを友達や家族に向けたと思った」という記述があり、学習内容と社会とのつながりに気付いた。また、学習に意欲的に取り組むようになった。
C	<ul style="list-style-type: none"> 学習意欲は高くなく、楽しいことに流されやすい。ムードメーカーではあるが、気持ちの浮き沈みによって学習への取組が大きく変わるため、何事にも一定の意欲をもってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 事後アンケートで「やりたいことだけではなく、嫌なことにもどンドンチャレンジしていかないといけないと思った」という記述があり、自分の不得意な点に気づき、改善しようという意識が出てきた。

実践を通しての課題
<ul style="list-style-type: none"> その後の単元の学習と合わせて、企業の社会的役割についての深い理解につながっていた。複数の単元を貫くことで深い学びとなることを念頭に入れ、構想を改善する必要がある。 対象とした1年生にとっては、取り扱う企業の情報が多すぎた。教員側で適切に取捨選択し提示する必要性があった。

